

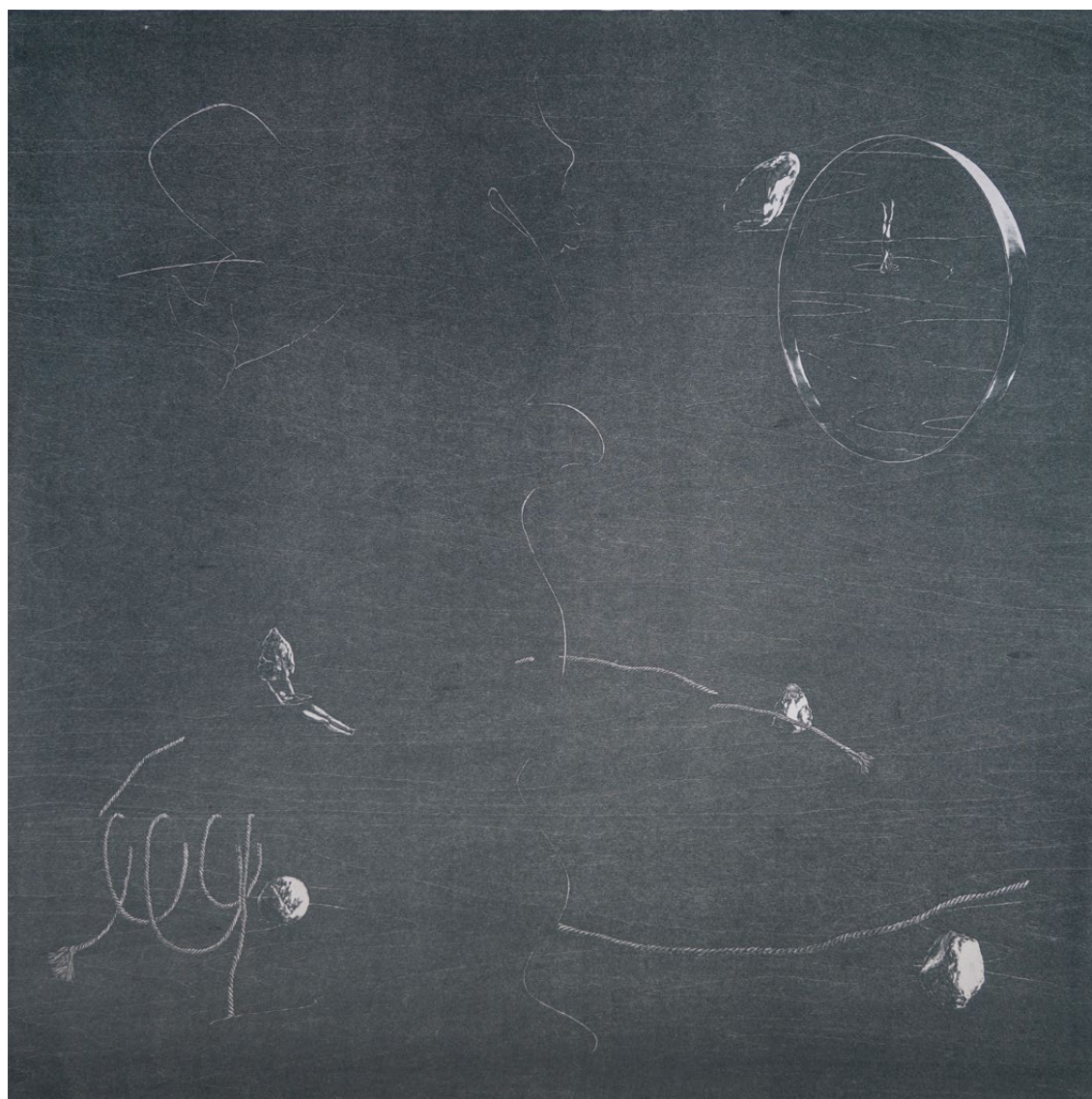
{Outotsu ni Dekoboko}

凹に凸

— 絵が始まる地点と重なる運動 —

桐月沙樹

Saki Kirizuki



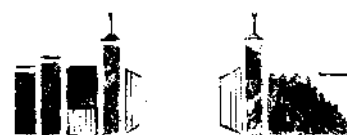
《凹凸に凸凹》(2019) 900×900mm 木版／紙

2019

10.12 (土) ▶ 10.27 (日)

12:00-17:00 土日祝は19:00まで
17日(木), 21日(月), 24日(木)は休廊

レセプションパーティー
10月12日(土)17:00~



GALLERY
SUUJIN

ギャラリー 崇仁 元崇仁小学校内
| 京都市下京区川端町16 | 京都駅より徒歩9分 |



《Distribution of light》(2018) 450×2250mm 木版、モノタイプ／紙



《pause.7》(2019) 170×170mm 木版／紙

私の制作は、板の木目を一枚の絵として鑑賞することから始まります。「木目」という絵に、別のモチーフを重ねて、一つの板の上に彫刻刀で彫り合わせます。彫るという行いは、イメージを深さ(凹凸)に変えることです。別々のレイヤーに属していた木目とモチーフは、私の身体を通して彫りの深度へと変換され、均質な圧力により、紙の平面上にとどまります。

今回の展覧会では、彫り終えた凹凸の版面を新たな「更地」と捉え直し、彫り足すことにより、凹凸(おうとつ)に凸凹(でこぼこ)を重ね、絵を動かしてみたいと考えました。「絵が始まる地点」を少しずつずらし、続きを彫り描いてみたいと考えることは、この場所で展覧会をする意味に繋がっているような気がします。

作家プロフィール

桐月沙樹 [Saki Kirizuki]



撮影：赤石隆明

1985年兵庫県生まれ。2009年東京造形大学造形学部美術学科絵画専攻領域卒業。2011年京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻(版画)修了。近年の展覧会に「藝文京展〜つなぐ」京都芸術センター(2019)、踏み外された版画の展覧会 vol.1 JMA2ギャラリー／東京(2019)、「龍野アートプロジェクトinクラフ」日本美術技術博物館マンガ／ポーランド(2018)、「ZOKEX NEXT 50 東京造形大学創立50周年記念事業 美術学科卒業展」アーツ千代田3331／東京(2016)、「surfing the surface」アートゾーン神楽岡／京都(2015)、「魅惑のニッポン木版画」横浜美術館(2014)、「龍野アートプロジェクト2013 刻の記憶 arts and memories」うすくち龍野醤油資料館他／兵庫(2013)、「桐月沙樹展」ギャラリーヤマキファインアート／神戸(2012)、「アートアワード東京丸の内2011」行幸地下ギャラリー／東京(2011)「七月あたりの堂東さんと桐月さんと宮田さん」ギャラリー恵風／京都(2011, 2012, 2014~2018)など。



《pause.9》(2019) 230×230mm 木版、うつつ絵具／紙

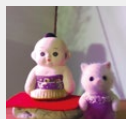


京都市立芸術大学
移転整備プレ事業
《教室のフィロソフィー》
第12弾 桐月沙樹 個展
『凹凸に凸凹』展覧会情報

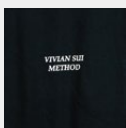
https://www.kcuu.ac.jp/20191012_kirizuki/

レセプションパーティー

10月12日(土)17:00~



"DJオギゾウ"と"Vivian Sui Method"による催しや、架空のミュージアムショップ"ENTERTAINMENT"による「ENTERTAINMENT的物販」を予定。「FOOD」のケータリングと恭子の「鯖寿司」「栗入りお赤飯」を準備してお待ちしております。



Vivian Sui Method

数見亮平、桐月沙樹、松尾信太郎による日本の音楽ユニット。2016年に名古屋KAKUOZAN LARDERで「産業革命」と対バン、2018年に原宿で開催された「やりなげアートブックフェア」で演奏が披露された。

About Vivian Sui Method

アメリカ人ヨーガインストラクターであるVivian Suiの教えが元になっている。Vivian Suiはヨーガエクササイズの中に版画を取り入れ、ヨーガの緩やかな動作の中に大胆な動作で行う版画の彫りと、静かな滞りの呼吸法を組み込むことで精神と肉体の解放を促すことを目的とする画期的なウッドブロックエクササイズを提唱している。知人からVivianを紹介された数見は、そのエクササイズに時代の風を感じ、Vivianの元でウッドブロックエクササイズを2ヶ月という驚異的な速度で習得する。しかし、数見のエクササイズへの偏執はとどまるところを知らず、敬愛する横方志功の過剰性を取り入れた異常なプログラムを次々と考案し、他の講座の参加者たちを巻き込みはじめる。このため、あくまでも精神と肉体の和合を目指すvivianの理想と対立することとなり、Vivianの元を去る。帰国後、エクササイズに過剰性とインダストリアルな表現を組み合わせたパフォーマンス講座を開催する。この講座に熱心に通っていた版画家である桐月、音楽家の松尾信太郎を説得し、一応Vivianの発案に敬意を表しバンド名をVivian Sui Methodとして2016年に結成。インダストリアル・ブロックエクササイズ・パフォーマンスというジャンルを突き進んでいる。

2023年、京都市立芸術大学は京都駅東部への移転を予定しています。予定地内の[元崇仁小学校]にて様々な事業を行っています。

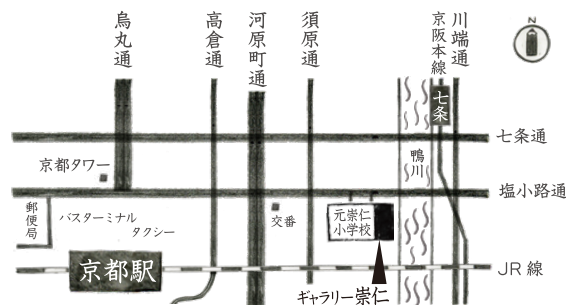


この町と、これからも、
この町と、いつまでも。



小学校の職員室であった空間が本学学生の設計・デザインによりギャラリーに生まれ変わりました。

京都市立芸術大学では移転整備プレ事業として、この新たな展示空間「ギャラリー崇仁」において若手作家を支援するためのプロジェクト「教室のフィロソフィー」を実施しています。このプロジェクトでは、本学を卒業、あるいは大学院を修了した若手作家を、小学校解体までの期間、連続して紹介していきます。絵画・彫刻・デザイン・工芸等様々な専攻で学び、新たな表現を生み出そうと苦闘している作家たちが生み出した作品群からは、現代の新しいアートの息吹を感じていただけると思います。



ギャラリー 崇仁 元崇仁小学校内 京都市下京区川端町16



JR 京都駅中央口より徒歩 9 分
地下鉄烏丸線京都駅ポルタ A3 出口より徒歩 7 分
京阪七条駅 1 番出口より徒歩 6 分
※お車でのご来場はご遠慮ください。